


山の学習支援事業プログラムの実施例

対象プログラム	No.22 川の環境と生き物の世界を見る
学校名	室戸市立羽根小学校
学年・生徒数	4～6年生 27名（引率：教員6名、見守り：民生委員7名）
実施場所	室戸市 羽根川（羽根小学校から約1km）
目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・海、川、山を体全体で感じ、自然に囲まれていることの素晴らしさを知る。</li> <li>・山の恵みを知り、それを活かした地元の文化に触れる。</li> <li>・活動を通して様々な人との関わり、生き方や考え方を学ぶ。</li> </ul>
関連教科	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会 命とくらしを支える水</li> <li>・理科 流れる水のはたらきと土地の変化</li> <li>・総合 羽根町の環境と私たちの暮らし</li> </ul>
講師	物部川21世紀森と水の会 常石勝
準備物	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童…長袖の上着、滑りにくい靴、飲み物、タオル、自転車</li> <li>・学校…ブルーシート、ロープ、小机2脚、救急箱、雷検知器、カメラ、簡易テント、ライフジャケットほか</li> <li>・指導者…水族館機材一式、エビ玉、シュノーケリングセット、ホワイトボード一式、ラミネート教材、オリジナルフィールドビンゴ、引き舟・バンド、JAXAの写真ほか</li> </ul>
実施項目	川の生き物調査、森川海のつながり（講話）、フィールドビンゴ
対象プログラム	No.22 川の環境と生き物の世界を見る
所要時間	約3時間
実施内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 体験学習のながれや注意事項の説明</li> <li>2. 用具装着（ヨモギの活用）と川の安全教室</li> <li>3. 川漁体験とミニ水族館づくり</li> <li>4. 森川海のつながり（講話）</li> <li>5. フィールドビンゴ</li> </ol>
実施風景	<p>学校で水着等に着替え、教員が引率して自転車で羽根川に移動した。体験場所に集合し、まずは児童が挨拶し、次に講師が体験学習の内容等について説明した。</p> <div data-bbox="464 1664 935 1977">  </div> <p>川の安全教室では、講師がヨモギの葉が水中メガネの曇り止めに活用できることを話し、児童は川岸でヨモギの葉を採取し、石で磨り潰して、ガラス面を擦り洗いしてから水中メガネを装着した。</p>



次に、水になれる体験として、腹ばいになり川底の石をつかみ這って対岸に渡った。その後、少し上流に歩いて移動し、川の流れに身を任せて下りながら水中の様子を観察した。

川漁体験とミニ水族館づくりでは、講師が羽根川の特徴や生息している水生生物の種類や生態等について説明し、児童はエビ玉を使って魚やエビなどを捕まえて水槽に集めた。ゴリ、ヌマチチブ、ヨシノボリ、テナガエビ、ボウズハゼ、アユキリなどを捕獲した。



少し休憩して水分補給などをした後、高知県東部の地図を見ながら羽根川の位置を確認し、講師が森川海のつながりについて講話した。



その後、9組（3人1組）に分かれて講師オリジナルのフィールドビンゴをした。ビンゴの探し物リストは、川の音、川のにおい、きれいな魚、水生昆虫、川の周りの植物など25項目用意されていた。最後に、どこでどのようなものを見つけたかをみんなで確認した。感じたことや気づいたことなどを発表することで更に環境への意識が高められていた。





捕獲した水生生物を持ち帰って食べたいという児童もいた。講師は、命をいただくという学習も大切、川遊びを通して身近な自然に親しみ、生息する水生生物や植物などを知り、更に海や森の環境に関心を持つことにつながってほしいと話していた。

#### 先生の感想

羽根小学校では、「ふるさと」「あいさつ」「なかま」「えがお」を大切にできる学校づくりを目指しています。この山の学習では、身近な自然での体験を通して、ふるさとのすばらしさを再発見することにつながっています。

また、自然だけでなく地域の人々のぬくもりや受け継がれてきた自然との営みから自己有用感を育むことにもつながっていると感じています。体験後の子どもたちの感想では「私たちも常石さんのように自然のことや生き物のことをもっと知りたい」や「自分たちの住む地域にこんなにも生き物がいることにドキドキした。これからも自然を大切にしたい。」「山や川、海のつながりなど教えてくださいましたことを忘れずにいたい。」など子どもたちの生き生きした活動が伝わってくる内容でした。

このような学習を通じて、また次の世代へとふるさとを大切に思う気持ちが受け継がれていくことだと思います。

#### 補足

#### その他、プログラムの 特徴

- ・羽根小学校は全学年で山の学習に取り組んでいる。
- ・2学期に以下のプログラムが実施される予定。
  - 1～2年生 秋の山で遊ぼう・自然のものを使ったものづくり
  - 3年生 森の恵みを感じ取る・山の恵みでおもちゃづくり
  - 4年生 木製品の温かさに触れる・木製プランターカバーづくり
  - 5年生 山を守る仕事を知ろう・土佐備長炭づくり
  - 6年生 昔の暮らしを体験しよう・紙漉きと火起こし体験
- ・3学期には各学年が学んだことをまとめて、他の学年や保護者、地域の方にシェアリングすることで理解を深める予定。